

日本共産党 西宮市会議員団ニュース

(発行)日本共産党西宮市会議員団(2013. 9. 15 No.615)

西宮市六湛寺町 10-3(西宮市議会内)

TEL35-3368 FAX・22-7815

Eメール・nmc30547@nishi.or.jp

ホームページ http://nishinomiya.jcp-giin.net/

9月 議会

「原発汚染水問題」で意見書提案し奮闘

8月29日から始まった9月議会で、党議員団から杉山たかのり議員と上田さち子議員が一般質問に立ち、杉山議員は①市の原発に対する態度②UR借上げ市営住宅問題③名神湾岸連絡線④住宅リフォーム助成制度について質問。上田議員は、①はね橋の開閉中止②さらなるバス交通の充実③市立養護学校について質問しました。また、福島原発汚染水漏れが深刻になっていることから、国に対して「原発事故の早期収束を求める意見書」を党議員団として各会派に提案し、今議会で採択できるように奮闘しています。

9月議会では2012年度決算審査も行われ、各議員が所属する常任委員会ごとの決算分科会で「市民要望前進」の立場から質疑を行い、新年度の予算に反映できるように頑張ります。

杉山・上田議員が一般質問

原発と借上げ住宅問題で方針変更迫る



杉山議員は、福島原発で今なお汚染水漏れが続く危機的状況であることから、「安全性が電力会社や国によって確保されることを前提に再稼働やむなし」というこれまでの市の態度を改め、脱原発の姿勢を打ち出すべきと追求しましたが、河野市長は、その前提が崩れているのに再稼働を認め、脱原発の立場には立たないとの態度に終始しました。

また、UR借上げ市営住宅問題では、市が今年示した『「期限での住み替えを基本とするものの、重度の障害者や要介護者のみ5年の猶予を設ける』という新たな方針は絶対ではない」という都市局長のこの間の発言を示して追求し、市は「期限満了時に引っ越しができない場合は、無理に転居を求めることはできない」と、現方針で解決できないことを認めました。

「はね橋」開閉中止の方向や、養護学校移転新築早期検討を答弁



上田議員は、これまで西宮浜と西波止町を結ぶ「はね橋」は、開閉が必要とされる船舶類が一切通行してないのに、開閉のために市民が待たされるということから「開閉中止」を繰り返し求めてきました。今回は、ついに「橋の開閉のあり方を変更すべきと考えている」と市長が答弁し、開閉の中止に向けて動き出しました。

また、甲子園春風町にある創立以来50年経過している市立養護学校についての質問では、ますます入学児童・生徒が増える傾向と、建物の老朽化や生徒のニーズに対応できなくなっている現状を認めさせ、「新築・移転も含めた建て替えの検討をする」という、これも初めてとなる答弁がありました。

2014年度予算への要望書を提出

党議員団は、9月議会での決算審査を来年度予算に反映させるため、予算要望書を毎年この時期に市長に提出しています。今年も8月30日(金)に、2014年度予算に対する415項目に及ぶ要望書を提出し、その後当局と意見交換を行いました。

今後、憲法改悪、道州制、社会保障の改悪などが進められ、地方自治を壊し、国民負担が増えることも予想されます。党議員団は、悪政の防波堤としての役割を市がしっかり果たすよう、さらに力を尽くしていきます。



要望書を提出し当局と意見交換する議員団(右側)